



# 阿戸中だより

校訓  
「自主・敬愛・責任」

平成22年  
11月号

広島市立  
阿戸中学校

## はじめての合同文化祭 みんなで楽しみました！！

先日10月31日(日)に行われた、阿戸小・中合同文化祭は、「文化の秋」「音楽の秋」にふさわしい充実したものとなりました。児童・生徒達の作品が展示された会場は、私達をすがすがしい気持ちにさせてくれ、発表会への期待がふくらみました。幼稚園の皆さんによる元気のいい太鼓の演奏、小学生による歌や踊り、群読、合奏の発表では、その大きな声と迫りに圧倒されました。そうした中で、幼い頃の自分を思い出しながら、成長した「今の自分」を意識した中学生も多かったのではないのでしょうか。

毎年のことですが、阿戸中の合唱の取り組みは、夏休み前にグループ分け、パート分け、選曲、パートテープ作りなどを行い、9月には各パートリーダーの音取りがスタートします。そして、前期末試験後の10月から約1ヶ月間にわたって合唱練習を行い、本番を迎えます。阿戸中では、こうした準備や練習を、ほぼ生徒だけで行うのが伝統になっているのですが、今年も本番が迫ってくると、自主的な朝練や昼練をするグループが出てきました。当日の合唱発表は、音楽的・技術的に不十分なところは多々あったと思いますが、その歌声や姿から、練習の苦労やこだわりが伝わってくる味のある合唱になりました。今年の反省をもとに、来年も阿戸中らしい文化を創り出してほしいと思います。午後からの「学習発表会」では、劇や歌、言葉などによる発表がとても楽しく生徒の皆さんの個性的な姿がよく伝わってきましたし、発表を引き立てるパワーポイントの作成や操作も効果的でした。発表会の企画・運営などを担当してくれた3年生の皆さん、指導して下さった先生方、協力・応援して下さいましたみなさんに感謝しています。ありがとうございました。(1年担任・音楽科担当 末森多佳子)



**総合5班 \*\* \*\*さん**  
私は総合5班で、今日の企画と運営をしました。司会では、練習と違って人がたくさんいて、本番なんだと改めて感じ、とても緊張しました。けどかまわずにはっきりとアナウンスできたのでうれしかったです。他の班の発表では、ほとんどの人が台詞を覚えて前を見て発表していたので、すごく練習したんだなと思いました。今日の発表でいろんなことを知ったり、できたので、良かったと思います。



総合の発表を堂々しました



中学生らしい一生懸命の歌声が響きました



**CCC world \*\* \*くん**  
僕たちの班は、練習の時初めは声が全然合いませんでした。この「YELL」という曲は音程が難しく、男子と女子が息を合わせて歌わないといけない曲でした。何度もMDで音を確認して練習をしました。そして、最後の練習の日、みんなで円になって「優勝するぞ!」と言った時、初めはバラバラだったみんなが、一つになりました。そして当日、みんな大きな声が出ていて本当に良かったと思います。息を合わせて一つになってみんなよく頑張ったと思います。



最優秀賞のCCC world

## お知らせ まさに文化の秋です。あちこちで阿戸中生が活躍します。

**第4回 文化の祭典(中学校の部) 第27回 広島市中学校総合文化祭**  
**【舞台発表の部(合唱)】**  
文化祭の合唱祭で最優秀賞になった、「CCC world」のみんなが、アステールプラザ中ホール(中区加古町)にて、市内の中学生を前に「YELL」を堂々発表してきます。ぜひ、応援して下さい。  
日時 11月6日(土) 13時00分開演  
**【総合展示の部(美術)】**  
3年生の\*\*\*\*さん \*\*\*さん \*\*\*\*さん \*\*\*\*さん \*\*\*\*\*さん \*\*\*\*さん(6名)の作品が、アステールプラザ 市民ギャラリーに展示されています。他校の生徒作品もたくさん展示されますので、ぜひ、ご鑑賞下さい。  
期間 11月2日(火)~7日(日)まで。

## 安芸区のいろいろな意見発表会

自分の意見をしっかり発表してきて下さい。応援もよろしくお願いします。

**減らそう犯罪意見発表会**（海田・安芸区・府中町・熊野の中学・高校生対象）

3年生 \*\* \*さん「虐待防止についてできること」

日時 11月6日（土） 11時頃 場所 海田ひまわりプラザ

**安芸区青少年健全育成大会**（安芸区の5校の中学生対象）

3年生 \*\* \*\*さん「私と地域のかかわり」

日時 11月6日（土） 14時頃 場所 安芸区民文化センター

## 部活動頑張っています！

表彰 ソフトテニス新人戦安芸区大会第3位・市大会出場 \*\* \*ペア

11/13日の市大会では緊張が不安になるのではなく、緊張を力に替えて実力が発揮できるよう、手を抜かず、一生懸命毎日の朝練、午後練に励んで下さい。

**2年生熊本へ修学旅行に行きます！** 11/16（火）～18（木）

阿戸を飛び出して、見知らぬ土地でどう振る舞うか、職場体験を済ませた2年生のマナーが問われます。しっかり学んでいきましょう。そして充実した体験と仲間づくりを！

## 生徒指導部だより

### 前期終業式での話から

生徒指導主事 井上 崇

「中学生らしさ」で表現していたマナーの部分が子どもたちにわかりにくく、近年、学習や部活動等の学校の活動に支障がでてきたり、中学生としてはふさわしいとは言いにくい様子が出てきました。高等学校の先生からも中学校へ要望として挙げられるような事も多くあり、他校の様子を参考にしながら、阿戸中学校においても、「社会から求められる中学生としてのマナー」という視点で検討を行い、前期の終業式で、大きく分けて次の2点について話しました。保護者の皆様にもぜひご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い致します。

#### 1. 服装等で、後期からきちんと守ってほしいこと

- ・くるぶしソックスは制服時や体育の授業中ははかない。  
部活動の時は、ユニフォームの一環としてとらえ、顧問が部員と確認をして可とする。
- ・制服の下には色Tシャツや部活動のアンダーウェア、キャミソール・タンクトップ等の肌着は着用しない。（体育着は可）
- ・髪の毛は、肩のラインを越えたら結ぶ。（もちろん登下校中も）
- ・髪を結ぶゴムの色は「黒」「紺」「茶」とする。そのゴムをアクセサリーとして手首等に巻いたり、ゴム以外のものは不可とする。
- ・カバンに人形等のマスコットを取り付けたり、落書きをしない。（来年度からはお守り以外禁止）今年度中は特に大きすぎるもの、複数付けている人については声かけをし、来年度からは預かることもある。
- ・制汗スプレーは「無香料なら可」とする。リップクリーム等も同様とする。

#### 2. 来年度から完全実施していくので、ご理解いただきたいこと

- ・来年度から生徒は名札を着用します。ボランティアの方や来校者が多いためです。但し、危機管理の面から登下校中は着用しません。学校で毎日預かります。
- ・来年度からは冬服のカーディガンやトレーナーは男女とも禁止とし、Vネックセーターのみ可とします。生徒の制服から袖や丈が多く出ており、非常にだらしのない身なりとなっているためです。色は「黒」または「紺」のみとしますので、新たに防寒着を準備されるご家庭は、「黒」または「紺」のVネックセーターを購入してください。

## 阿戸中のフレッシュ教職員

事務担当 中本 三千代先生

暑かった夏・・・八月十九日に阿戸中に来ました。阿戸中は阿戸小と同じ敷地であって、初めは不思議な感じがしましたが、小学生は自分たちの将来像を間近に見ることができて、とても心強いだらうなと思いました。正門で出会った生徒達も気持ちよくあいさつをしてくれて、うれしかったです。事務という仕事で、生徒さん達とは直接接することがあまりありませんが、少しずつ関わりながら楽しくやっていけたらと思っています。よろしくお願いします。

## 子育てコーチング

### 3「可能と可能性」

今回は“可能と可能性”について話します。この二つはコーチングでは少し違う捉え方をします。一般的には“可能性”は確率が問題になります。何か目標を持って行動しようとするとき、「この方法は可能性が高いからやってみよう！でも、これは可能性が低いのでやめておこう。」となります。ところが、“可能”と言う場合は、存在する方法すべてを言います。確率が1%でもあれば、方法の1つです。前回登場した次男。学部を決めたとき私は「そりゃあ可能性が非常に低いよ。だって、あなたの高校のパンフレットに進学先として出てないじゃん。」夫「だったら、その初めての人になればいいじゃないか。」「そんな無理なことを・・・。」私はこのとき、まだコーチングに出会っていませんでした。可能性が高い、低いにとらわれていたのですね。子どもの持っている力、秘めている力、まだ見えていない力を信じてやることができなかつたのです。大学進学のための学部・学校は、受験の門戸を開いているわけですから、受験生にとってはすべて“可能”なことです。そこに、チャレンジするかどうか、目標と定めて合格のために準備をするかかなのです。適切な準備だったら合格するし、不十分だったら不合格なだけです。初めから答えが決まっているわけではないのです。残念なことに私が“無理だ派”だったので、何か壁にぶつかる度にもめた3年間になりました。あの時“可能の扉を開く”“子どもの力を信じてやる”ことができなければ、親にとってもっと楽な受験生活だったことは間違いありません。

コーチングでは“可能の扉を開きましょう”といえます。可能性は低くてもいい。“それもありかも”といって、やってみるのです。行動してみれば失敗すれば、そのときどうしたらいいか考えるのです。だから、失敗することはちっとも怖くありません。私はこの考え方がとても気に入りました。それから、やろうかやるまいか考えたときは、やってみることにしました。すると、悩まなくて済むようになり、意志決定が早くなり、フットワークが軽くなりました。そういう自分に出会って、自分のまだ知らない力を信じることができるようになり、チャレンジすることができるようになりました。その結果、思っても見なかった自分になることがちっとも不安でなく、心も軽くなり、楽しくなりました（教頭 藤本恵）。